ご議論頂きたい事項について

論点5 東アジアへの玄関口としての社会基盤の整備(産業を支える物流インフラ)

論点

・グローバル経済において生き残るためには、九州はアジアと地理的な要因が近いというだけでは利点に結びつかない。シームレスアジアを実現し、人的・物的・経済的・技術的等各分野での交流と連携を強化するため、相当程度の人口、産業、それらを支える基盤が集積している地方ブロック(=中核都市以上の単位を中心としたエリア)の拠点を活用し整備する必要があるのではないか。

対応の方向性

物流拠点の整備と情報システムの活用

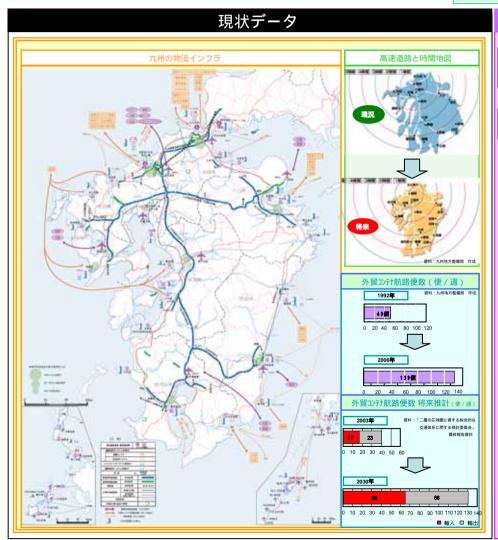
- ・国際輸送と国内輸送との接続を 円滑に行うための港湾、空港等 物流拠点の整備
- ・輸送情報システム等を利用した 物流の合理化

循環型高速交通 なットロークの形

・物流拠点と圏域内の産業拠点等 の円滑な移動を確保するための 高規格幹線道路や鉄道等による 循環型高速交通ネットワークの 形成

多地域・多経路・多頻度的な物流手段の確保

・圏域内の各地域と東アジア諸地域との直接的な交流・連携を促進するための多地域・多経路・ 多頻度的な物流手段の確保

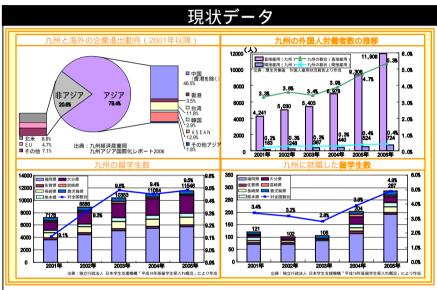


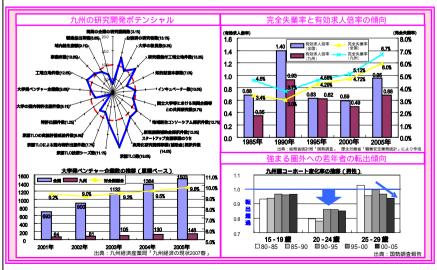
九州におけるアジアゲートウェイの実現(イメージ) 物流拠点への交 RORO機能の強化 通アクセスの改善 によるトレーラー等 によるリードタイム の輸出入のシームレ の短縮 ス化 輸出入、港湾手続 き等の迅速化 物流センター機能へ の集約等による効率 的な輸送 新なな高速なる 物流情報システム 災害時等における 等の共有化による 安定した物流のた 効率的な取引、渋 めの代替輸送手 滞の回避等 段の確保 鉄道輸送や内航 フィーダーとの結 周辺の産業特性、 節機能の強化 荷主のニーズ、輸 送コスト・スピード 国際物流ニーズに 等による最適な輸 対応した外貿コン 送手段の選択 テナ機能の強化

論点7 多種多様な人材が集積する産業構造の形成

論点

- ・アジアビジネス拠点としての九州の魅力から、優秀な海外人材を活用する 方策が必要ではないか。
- ・また、九州圏からの人材流出に歯止めをかけ、圏域内に多種多様な人材が 集積するための産業構造の形成が必要ではないか。





対応の方向性 アジアビジネスを担う 支援制度の充実 人材の育成・確保 「アジア人財資金構想」による 事業支援 ・九州圏の企業が海外ビジネスを円 大学におけるビジネススクール等 による人材育成 滑に展開する上で必要な能力を持 つ人材の育成 ・九州圏に多く存在するアジアから ・企業のグローバル化の中核 語学能力 ・相手国のビジネス慣習 人材 ・海外ビジネスの橋渡し役 の留学生を海外ビジネスを担う人 等への理解 材として活用 ・経営マネジメント能力 労働力の 安定供給 幅広い人材の雇用促進 ・流出傾向にある若者の就業支援 今後、大量退職が見込まれる高齢 者の活用 ・女性・高齢者の一層の雇用 インターンシップ事業の ・UIターンの推進 ・再雇用、雇用延長等による ・高度技術をもつ人材育成 ・若年層への技能・技術の継 ジョブカフェ等による就 多様な連携による 研究開発機能の強化 イノベーションによる 新技術等の創出 産学官連携による産業の高度化、 ベンチャーの支援、促進 競争力の強化 企業間連携等による 経営基盤の強化 企業間連携により経営基盤(技術 (技術基盤、財務基盤等) 基盤、財務基盤等)の強化 公的研究機関 若者の受け皿 情報産業、コンテンツ産業等の都市型産業の育成 若者の雇用の受け皿 高齢化社会の進展等に対応した産 多様なニーズに対応した産業展開 業の振興、展開 地域雇用の下支え 地域の雇用を下支えする地場産業 高齢化対応 建設業の新分野進出 医療・福祉等の社会サービス産業 (農林水産業、建設業等)の活性化 農商工連携による農林水産業 の振興